

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

2025 年 12 月 5 日

公益社団法人 応用物理学会
リフレッシュ理科教室 WG 代表者様

開催支部または分科会： 関西支部
開催責任者（支部長または分科会幹事長）： 支部長 裏 升吾
開催連絡責任者： 兵庫県立大学 竹内雅耶
連絡先： Email: t918m021@guh.u-hyogo.ac.jp TEL: 0792-67-4959

以下のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支をまとめてご記載、もしくは会場毎収支のご記載、どちらでも問題ありません。
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上、ご報告ください。
対面実施形式とオンライン実施形式で報告書の様式が若干異なります。)

事業名：リフレッシュ理科教室 － 教員のための現代テクノロジー実験講座 －	
リフレッシュ理科教室補助金額：280,000 円	
開催日：2025 年 7 月 31 日	
開催場所：島津製作所 基盤技術研究所（みらい共創ラボ）	
決 算（収入合計と支出合計は同額になります）（単位：円）	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 280,000 円	アルバイト代・交通費：16,280 円
参加費 0 円	旅費交通費【支払人数計 5 名】 (幹事・特任委員)：19,960 円
広告展示料 0 円	講演者謝金：25,000 円
支部分科会からの支援金 0 円	講演者交通費：13,590 円
企業からの協賛金 0 円	消耗品費（実験材料・文具代等）：87,810 円
助成金（県・市など） 0 円	懇親会費：75,462 円
	諸謝金【支払人数計 1 名】：25,000 円
	荷物郵送代：2,300 円
合 計 280,000 円	合 計 24,0403 円

決算報告書は、支部（分科会）会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要で
す)。講師謝礼金やアルバイト代については、支払人数を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室
－ 教員のための現代テクノロジー実験講座 －

開催日：2024年 7月 31日

開催場所：兵庫県立大学 竹内雅耶

参加者人数

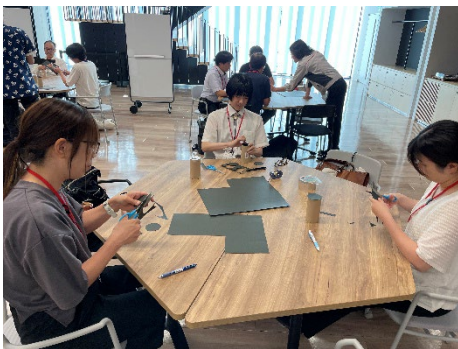
- ① 生徒・児童：大学院生1名
- ② 保護者・一般：0名
- ③ 教諭等：11名
- ④ スタッフ等：7名 ※こちらには指導員やアルバイトの人数を記載ください。保険料の算出に使用します。

内容

本講座は、中学校・高等学校・高等専門学校の理科教員を対象に、応用物理学会所属の大学教員、企業研究者、学生との交流を通して最先端の科学技術に触れていただき、授業や進路指導に役立ててもらうことを目的として開催している。

実験講座では、理科の授業に取り入れられる可能性のある実践的なテーマや教材を紹介するとともに、当該分野の研究開発に携わる技術者・研究者を講師に招き、関連する最新のトピックや社会的波及効果などをわかりやすく解説している。本年度は、島津製作所 基盤技術研究所を会場として開催し、兵庫県立大学の山川進二准教授を講師に迎え、「半導体デバイス作製に欠かせない光リソグラフィ技術」というテーマで講演を行った。講演では、半導体技術の最新動向についてわかりやすく紹介いただいた。実験講座では、回折格子を用いた分光実験を実施し、参加者が実際に光学現象を体験できる内容とした。また、島津製作所 基盤技術研究所の見学も行い、参加者にとって貴重な学びの機会となった。講座終了後のアンケートでは、「内容がわかりやすく有意義であった」「授業に活かせるアイデアを得られた」など、全体として好評であった。

参加者は中学校・高等学校の教員が10名で、昨年度の1名から大幅に増加した。参加者増加の要因として、開催時期を7月としたことが挙げられる。昨年度は10月開催であり、学校行事等が重なり参加が難しかったが、アンケート結果でも「7月後半から8月前半が最も参加しやすい時期」との意見が多く寄せられた。今後も、参加しやすい時期に開催することで、より多くの中学校・高等学校教員の参加が期待できると考えられる。



実験講座の様子



集合写真

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛まで各支部長・分科会幹事にCCで共有の上メール添付（WORD形式）にてご提出ください（原本不要です）。